1．2022年度 実績について

2022年度の当社全工場からのプラスチック廃棄物排出量は **60,825 t** でした。
このうち **98.9 %** にあたる **60,162 t** を再資源化(サーマルリサイクルを含む)し、
未再資源化量は **663 t** となりました。

2．2025年度までの目標について

① 紙製造由来のプラスチック廃棄物について、
紙生産量1tあたりの排出量を2021年度比で『1%削減』
② プラスチック廃棄物の再資源化率(サーマルリサイクルを含む)を『98%以上で維持』
の何れかを達成することを目標とします。

表．2022年度 多量排出事業者(当社全工場)における排出量・再資源化量(率)の実績、目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2025年度 [目標]
プラスチック廃棄物排出量 [有姿トン] (うち原料古紙由来の排出量)	67,112 (64,880)	60,825 (58,648)	–
紙製造由来のプラスチック廃棄物について、 紙生産量1tあたりの排出量 [有姿トン] ※この項目のみ対象を紙製造工場に限定	**0.01527**	**0.01494**	**2021年度比 1% 削減 (0.0151173 以下)**
再資源化等量 [有姿トン]	65,856	60,162	–
未再資源化量 [有姿トン]	1,256	663	–
再資源化率 [%]	**98.1**	**98.9**	**98% 以上で維持**

3．プラスチック廃棄物の削減に貢献可能な製品

日本製紙グループでは「紙でできることは紙で。」を合言葉に社会の課題解決に繋がる「紙化ソリューション」を推進しています。
その中でも社会全体で使用されるプラスチックの削減(プラスチック廃棄物の削減)に貢献できる製品として、以下の製品等が挙げられます。

① バリア素材「シールドプラス®」
https://www.nipponpapergroup.com/products/package/thick_paper/post.html

② リサイクル可能な紙包材「ラミナ®」
https://www.nipponpapergroup.com/products/package/thick_paper/lamina.html

③ 紙パック「School POP®」
https://www.nipponpapergroup.com/sustainableproducts/schoolpop/

④ 紙ストロー「ＮＰナチュラ®」
https://www.nipponpapergroup.com/products/paperstraw/